



2018年度

学 生 募 集 要 項

私費外国人学部留学生入試

鹿 児 島 大 学

目 次

	頁
インターネット出願について.....	1
鹿児島大学憲章.....	2
鹿児島大学教育目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）.....	4
I 募集人員.....	10
II 出願資格.....	10
III 入学者選抜方法.....	12
IV 採点・評価等基準.....	15
V 出願手続.....	17
VI 小論文等の実施日等，時間割，受験上の注意.....	20
VII 合格者発表.....	21
VIII 入学手続.....	21
IX 個人情報の取扱いについて.....	22
X 障害のある入学志願者の事前相談.....	23
XI 国際交流会館，学生寮，入学科免除制度，入学科徴収猶予制度，授業料免除制度及び奨学金等.....	24
XII 入試情報開示.....	28
平成30年度入試インターネット出願の流れ（全体イメージ）.....	29

入学者選抜実施日程

出 願 期 間	2018年1月16日(火)～18日(木) 17時必着 インターネット出願登録及び検定料支払手続きは 2018年1月9日(火)から可能
選 抜 実 施 日	2018年2月3日(土)
合 格 者 発 表 日	2018年2月7日(水) 10時(予定) 鹿児島大学ホームページ (https://www.kagoshima-u-ac.jp/)
入 学 手 続 日	2018年3月14日(水)・15日(木) 17時必着

インターネット出願について

鹿児島大学では、今年度から、インターネットを利用した出願方法に変更します。従来冊子体で配付していた学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF 形式）をダウンロードして入手又は参照してください。

【今年度からインターネット出願に変更する入試区分】

- ・推薦入試Ⅰ
- ・推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）
- ・私費外国人学部留学生入試
- ・一般入試（前期日程・後期日程）

【インターネットを利用した出願の流れ】 ※①～④まで行わなければ出願は完了しません。 (詳細は「V 出願手続」17 頁参照)

①入試区分・入試制度の確認（事前準備書類の印刷）



本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認します。
※事前に準備する書類もありますので、ご注意ください。

②出願情報の登録（一時保存機能付き）



パソコン又はスマートフォンから本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願登録サイト」にアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力します。

- 【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択
◎氏名・連絡先等の個人情報を入力

※一時保存機能により、検定料支払いの前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。

③支払い方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択します。

- 【支払い方法】◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎ゆうちょ銀行ATM
◎銀行ATM ◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、**支払い期限までに**入学検定料を支払います。

④必要書類の印刷・郵送



出願確認票を印刷し、調査書等の必要書類とともに封筒に入れます。その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、鹿児島大学へ出願期間に間に合うように郵送し、出願完了となります。

【インターネット出願体験デモサイトについて】

本学のインターネット出願を体験できるデモサイトを2017年12月1日（金）から2018年1月4日（木）まで公開します。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web02.html>



また、インターネット出願に関する各種情報を、「鹿大ホームページ」及び「鹿大公式 LINE」で随時お知らせしますので確認してください。

鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教 育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研 究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を^{いしづえ}礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日 制定

Kagoshima University Charter

Kagoshima University is situated at the southern gateway of the Japanese archipelago to the Asian region and is blessed with a rich natural environment of seas, volcanic mountains and islands. During the reform and modernization of Japan in the middle of the nineteenth century, Kagoshima produced many leaders who boldly took on the many difficult challenges of the time. In keeping with this unique geography and history, Kagoshima University aims to be a comprehensive university that contributes to society and the community in sustaining academic freedom and diversity, and in supporting the spirit of self-sufficiency and enterprise.

EDUCATION

Kagoshima University strives to help students discover and develop their potential and ability and provides a wide-range of liberal arts and professional education to help individuals foster a spirit of initiative that capitalizes on local attributes. Kagoshima University endeavors to produce graduates of both high morality and social nature who aspire to overcome challenges and work actively for the global society.

RESEARCH

Kagoshima University emphasizes respective researches and fosters leading researchers for the 21st century through collaboration with outstanding researchers in various academic fields. Kagoshima University aims to become a world-class center of excellence by expanding research to meet regional demands as well as promoting research activities that have universal application.

CONTRIBUTION TO SOCIETY

Kagoshima University contributes to the development and dynamism of the regional community through promotion of industries in the southern Kyushu area, enrichment of medical care and welfare, conservation of the surrounding environment, advancement of education and culture and many other endeavors. Kagoshima University works actively to strengthen our partnerships with countries in the Asia-Pacific region through mutual exchange of researchers and students, and international joint research and education in order to contribute to the human welfare and to help foster peace and the preservation of the global environment.

UNIVERSITY MANAGEMENT

Kagoshima University, under the leadership of the president, develops and advances its educational and research environment with participation in university management by all members of the faculty and the administration. Based on the university's autonomy, Kagoshima University conducts continuous self-inspection and self-evaluation and fulfils its responsibility to society in implementing management that is fair and highly transparent and actively responsive to external considerations.

Approved on November 15th, 2007

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〈鹿児島大学が求める学生像〉

鹿児島大学は、教育目標に定める人材を育成するため、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法文学部

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来及び可能性を探求する意欲のある人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

教育学部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて、教育学部では、次のような人材の育成を目標とする。

学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。このようなことから、次のような人を求めています。

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校の教員になりたいという志望が強く明確な人
- (2) 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- (3) 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- (4) 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- (5) 自己的人間性を高めるために、ためまず持続的に努力する人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢
- (6) 本学部での学修に必要な日本語能力

3 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験、面接、実技（実技系初等中等コース音楽・美術・保健体育）を総合的に評価して行います。また、面接では、志望動機、学習意欲、日本語会話能力等を評価します。

理学部

「理学」は、自然現象の中に潜む真理を探究する学問であり、そこで明らかにされた自然法則は人類の英知や文化の中に蓄積され、科学技術の発展を支えてきました。こうして現代社会は豊かなものになりましたが、豊かさの裏では環境やエネルギーなどに関する新たな課題も生じました。このような問題を解決するためにも、真理の探究と共に、物事の原理を基礎から理解する「理学」のさらなる進展は不可欠です。鹿児島大学理学部は南九州という自然に恵まれた地理的特色を生かしながら、基礎科学を中心とする自然科学の最新の教育・研究を進めます。

教育目標

多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図り、次のような人材の育成を目指します。

- (1) 自然科学の専門知識と幅広い教養を併せもち、論理的科学的思考力を身に付けた人
- (2) 学問の高度化や多様化に柔軟に対応できる、創造力のある人
- (3) 社会性、国際性、学際性が豊かで、先端科学の知識と問題解決能力を身に付けた人
- (4) 高い倫理観をもって人類の幸福と福祉に貢献できる人

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
- (3) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語等の基礎学力に加えて、各学科で必要とされる数学と理科の高い学力を身につけてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する習慣を身につけてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

医学部

教育目標

全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目指します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 思いやりのある人
- (2) 幅広い基礎知識を有する人
- (3) 人の生命や社会に深い関心をもつ人
- (4) 探究心があり、物事に積極的に取り組む人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 基礎的な学力
- (2) コミュニケーション能力
- (3) 医療への関心
- (4) 人を思いやる心

- (5) 物事に対する責任感
- (6) 探究心
- (7) 倫理的な思考力

3 入学者選抜の基本方針

入学者選抜については、日本留学試験、TOEFL、小論文および面接により基礎学力、日本語能力ならびに適性を判定します。

歯学部

教育目標

歯学部は「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに、下記の教育目標を達成します。

- (1) 全人的歯科医療を实践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (2) 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (3) 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 生命への強い関心、人間としてのモラル、奉仕精神にあふれる人
- (2) 歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人
- (3) 歯科医学に興味を持ち、科学的探究心の豊かな人
- (4) 幅広い視野と柔軟な感性を持ち、常に考え行動する資質のある人
- (5) 歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、数学、理科、地歴、公民、英語などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力が必要となります。

工学部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学）」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

- (1) 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。
- (2) 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
- (3) 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
- (4) 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
- (5) 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3 入学者選抜の基本方針

私費外国人学部留学生入試では、個別学力検査で面接を課し、基礎学力、日本語能力、学習意欲、目的意識などを総合的に評価し選抜します。

農学部

教育目標

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を目指します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島大学農学部では、農林業や食料生産、環境保全、生命科学の分野に広い探求心をもち、自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え、高い社会的関心を持った学生を求めています。

水産学部

教育目標

水産学部は専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備えた水産技術者を社会に送り出すために、以下の教育目標を掲げます。

1. 鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得した人材の育成
2. 豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画する人材の育成
3. 地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 海洋環境や水圏の生物に興味を持ち、水産業の基盤である海洋環境や水圏に生息する生物の特性と両者の相互作用についての基礎科学を学び、学校教育や環境教育の現場あるいは海洋環境と生物に関する調査・保全に関わる機関で働きたい人
- (2) 水産資源の生産管理や増養殖に興味を持ち、水産資源とその採捕・管理及び増養殖に関する理論と技術について学び、漁業技術産業、増養殖産業あるいは水産資源の開発・管理や増養殖に係る公的機関で働きたい人
- (3) 水産食品や水産資源の先進利用に興味を持ち、水産資源の食品としての利用と機能性化成品などへの先進的な利用について学び、食品・化学品製造業及び製薬業ならびにそれらの関連分野で働きたい人
- (4) 水産政策や水産物流通に興味を持ち、水産政策と水産物流通・経済に関連する知識と技術について学び、水産流通業や食品産業、水産系公務員、水産系金融、漁業系統機関などで働きたい人
- (5) 水圏環境の保全に興味を持ち、赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染（人為的ネガティブインパクト）、水圏環境の保全と修復について学び、環境アセスメントや関連分野及び公的機関で働きたい人
- (6) 水産教員、海技士、水産ジェネラリスト、グローバル人材として働くために必要な職業能力を強化したい人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力が必要です。
- (2) 専門科目修得のためには、各教育分野に対応した科目（生物、化学、物理、地学等）の学力が要求されます。これらの科目は1年次に習得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

3 入学者選抜の基本方針

水産学科では、水圏科学、水産資源科学、食品生命科学の三領域で、第二、第三志望を認めて入学者選

抜を行います。三領域のいずれかに入学した学生は、在学中に同名の分野に進むほか、希望と成績により水産経済学分野、水圏環境保全学分野に所属することができます。

共同獣医学部

教育目標

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成し、幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに社会のニーズに対応した、人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出することを教育目標としています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

共同獣医学部では、発展・進化する獣医科学に取り組む知識欲と探求心、これを実践・活用する論理性と創造力、及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた、次のような学生を求めています。

- (1) 獣医師の幅広い職責について理解し、獣医学を志す明確な目的意識を有する人
- (2) 自然科学、人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を万遍なく学習し、獣医学の知識や技術を十分に理解、習得するための基礎学力を身につけている人
- (3) 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し、社会的にコミュニケーションがとれる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

大学入試センター試験及び個別学力検査で課す教科・科目における十分な基礎学力と思考力が必要になります。また、小論文及び面接においては自分の考えを明確に表現する能力を身につけておく必要があります。

3 入学者選抜の基本方針

日本留学試験を課し、さらには面接用作文を作成して面接を課し、基礎学力、日本語能力、志望動機、勉学意欲、英語能力を総合的に評価します。

本学では、大学において教育を受ける目的をもった私費外国人留学生を対象に、一般入試とは異なった入学試験を次の要領により実施します。

I 募集人員

1 学部1学科・課程等を選び、出願してください。

学 部	学 科 ・ 課 程 等		募 集 人 員	学 部	学 科 ・ 課 程 等		募 集 人 員
法文学部	法経社会学科	法学コース	若干人	歯学部	歯学科		若干人
		地域社会コース・ 経済コース	〃		機械工学科		〃
	人文学科	多元地域文化コース	〃		電気電子工学科		〃
		心理学コース	〃		建築学科		〃
教育学部	初等教育コース		〃	工学部	環境化学プロセス工学科		〃
		中等教育コース	国語		〃	海洋土木工学科	
	社会		〃		情報生体システム工学科		〃
	英語		〃		化学生命工学科		〃
	数学		〃	農学部	国際食料資源学特別コース (農学系サブコース)		〃
	理科		〃		農業生産科学科		〃
	技術		〃		食料生命科学科		〃
	家政	〃	農林環境科学科		〃		
	実技系初等中等教育コース	音楽	〃	水産学部	国際食料資源学特別コース (水産学系サブコース)		〃
		美術	〃		水産学科		〃
		保健体育	〃		水圏科学領域 水産資源科学領域 食品生命科学領域		
特別支援教育教員養成課程		〃	共同獣医学部		獣医学科		
理学部	数理情報科学科			〃			
	物理科学科			〃			
	生命化学科			〃			
	地球環境科学科		〃				
医学部	医学科		〃				
	保健学科	看護学専攻	〃				
		理学療法学専攻	〃				
		作業療法学専攻	〃				

II 出願資格

外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者で、次の1～4のいずれかに該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が実施（海外実施を含む。以下同じ。）する日本留学試験の所定の試験教科・科目を受験したもの。

なお、法文学部、理学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部及び共同獣医学部の志願者は TOEFL 又は TOEIC を、教育学部及び医学部の志願者は TOEFL を併せて受験していること。

- 1 外国において、学校教育における12年の課程を修了（最終学年を含んで2年以上継続して在籍していること。）した者及び2018年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
- 3 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの
- 4 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、2018年3月31日までに18歳に達するもの

全ての学部において、TOEFL又はTOEIC（教育学部・医学部はTOEFLのみ有効）と日本留学試験の受験が必要となります。（詳細については12～17頁を参照してください）

また、学部によっては、下記のスコアを取得する必要があります。

学部・学科等		TOEFL		TOEIC	日本留学試験	
		PBT	iBT			
法文学部	法社会学科	法学コース	420点以上	36点以上	360点以上	—
		地域社会コース・経済コース				日本留学試験の日本語記述と理科を除く合計得点65%以上
	人文学科	多元地域文化コース	420点以上	36点以上	420点以上	—
		心理学コース				日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の総合科目・数学の各科目得点60%以上
教育学部	全課程	420点以上	36点以上	×	—	
理学部	数情報科学科	420点以上	36点以上	420点以上	日本語220点以上（記述を除く）	
	物理科学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本留学試験の理科の科目合計得点60%以上	
	生命化学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本留学試験の理科・数学の科目合計得点60%以上	
	地球環境科学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本留学試験の合計得点60%以上	
医学部	医学科	550点以上	79点以上	×	日本語380点以上（記述を除く） 日本留学試験の理科・数学の科目合計得点320点以上	
	保健学科	420点以上	36点以上	×	日本語220点以上（記述を除く）	
歯学部	歯学科	480点以上	54点以上	530点以上	日本語315点以上（記述を含む） 理科140点以上 数学140点以上	
工学部	全学科	—	—	—	—	
農学部	国際食料資源学特別コース （農学系サブコース）	420点以上	36点以上	420点以上	—	
	農業生産科学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の合計得点60%以上	
	食料生命科学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の合計得点70%以上	
	農林環境科学科				日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の理科・数学の各科目得点60%以上	
水産学部	国際食料資源学特別コース （水産学系サブコース）	420点以上	36点以上	420点以上	—	
	水産学科（全領域）				日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の合計得点60%以上	
共同獣医学部	獣医学科	420点以上	36点以上	420点以上	日本語220点以上（記述を除く） 日本語記述30点以上 日本留学試験の合計得点70%以上	

Ⅲ 入学者選抜方法

1 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績を利用し、次表により行います。

学部・学科	選 抜 方 法	
法文学部	法経社会学科・人文学科(多元地域文化コース)	日本留学試験，小論文及び面接の成績の総合得点により行う。
	人文学科(心理学コース)	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。
教育学部	日本留学試験，面接，実技(実技系初等中等教育コース音楽・美術・保健体育)を総合的に評価して行う。	
理学部	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。	
医学部	医学科	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。
	保健学科	日本留学試験，小論文，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。
歯学部	日本留学試験，面接(会話及び作文)及び英語能力を総合的に評価して行う。	
工学部	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。	
農学部	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。	
水産学部	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。	
共同獣医学部	日本留学試験，面接及び英語能力を総合的に評価して行う。	

2 日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査科目等

学部・学科等		日 本 留 学 試 験			個別学力検査で課す科目等	英語能力測定方法(注3・4)
		試験教科・科目の指定(注1)	出題言語の指定	試験の利用(注2)		
法文学部	法経社会学科	法学コース	日本語，総合科目，数学(コース1又はコース2)	日本語	直近の4回	小論文，面接 TOEFL 又は TOEIC
		地域社会コース・経済コース		日本語又は英語		
	人文学科	多元地域文化コース				
		心理学コース		TOEFL		
教育学部	中等教育コース 国語・社会・英語	文系	日本語，総合科目，数学(コース1又はコース2)		面接	TOEFL
	実技系初等中等教育コース 美術				面接，実技	
	中等教育コース 数学・理科・技術	理系	日本語，理科(物，化，生から2科目)，数学(コース1又はコース2)		面接	
	実技系初等中等教育コース 音楽・保健体育			面接，実技		
	初等教育コース， 中等教育コース 家政 特別支援教育教員養成課程	文系，理系いずれでも可		面接		

理 学 部	数理情報科学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語	直近の 2 回	面接	TOEFL 又は TOEIC
	物理科学科	日本語, 理科 (物1科目, 化, 生から1科目), 数学 (コース2)				
	生命化学科	日本語, 理科 (化, 生), 数学 (コース2)				
	地球環境科学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)				
医 学 部	医学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語	直近の 4 回	面接	TOEFL
	保健学科				小論文, 面接	
歯 学 部	歯学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語		面接	TOEFL 又は TOEIC
工 学 部	全学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語		面接	TOEFL 又は TOEIC
農 学 部	全学科, 国際食料資 源学特別コース (農学系サブコース)	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語	面接	TOEFL 又は TOEIC	
水 産 学 部	全領域・国際食料資 源学特別コース (水産学系サブコース)	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語	面接	TOEFL 又は TOEIC	
畜 産 学 部	獣医学科	日本語, 理科 (物, 化, 生から 2科目), 数学 (コース2)	日 本 語 又は 英 語	直近の 2 回	面接	TOEFL 又は TOEIC

(注1) 理科の「物」は物理, 「化」は化学, 「生」は生物の略語です。

(注2) 「直近の4回」は, 2016年度及び2017年度に各2回実施された日本留学試験のうち, いずれか1回の成績を志願者の申告により利用します。

「直近の2回」は, 2017年度に2回実施された日本留学試験のうち, いずれか1回の成績を志願者の申告により利用します。

(注3) TOEFL又はTOEICを利用する場合は, 2016年及び2017年に受験した者に限ります。

(注4) 英語を母国語とする志願者について, 学部・学科等によってはTOEFL又はTOEICを免除する場合があります。

3 選抜方法に関する配点

学部・学科等			日本留学試験						個別学力検査等				TOEFL 又は TOEIC	総合 得点		
			日本語 記述	理 科			総合 科目	数 学		小 論文	面 接	実 技			英 語	
				物 理	化 学	生 物		コース 1	コース 2							
法 文 学 部	法 社 学 科	法学コース	400	(-)	/	/	/	200	200		100	100	/	/	(注)	1000
		地域社会コース・ 経済コース	400	(-)	/	/	/	200	200		100	100	/	/	(注)	1000
	人 文 学 科	多元地域文化コース	400	(-)	/	/	/	200	200		200	100	/	/	(注)	1100
		心理学コース	400	(-)	/	/	/	200	200		/	(*)	/	/	(*, 注)	※
教 育 学 部	中等教育コース 国語・社会・英語		400	(*)	/	/	/	200	200		/	100	/	/	(注)	※
	実技系初中等教育コース 美術		400	(*)	/	/	/	200	200		/	50	150	/	(注)	※
	中等教育コース 数学・理科・技術		400	(*)	100	100	100	/	200		/	100	/	/	(注)	※
	実技系初中等教育コース 音楽・保健体育		400	(*)	/	/	/	200	200		/	50	150	/	(注)	※
	初等教育コース 中等教育コース 家政		400	(*)	/	/	/	200	200		/	100	/	/	(注)	※
	特別支援教育教員養成課程		400	(*)	100	100	100	/	200		/	100	/	/	(注)	※
理 学 部	数理情報科学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
	物理科学科		400	(-)	☆ 100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
	生命化学科		400	(-)	/	☆ 100	☆ 100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
	地球環境科学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
医 学 部	医学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
	保健学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	(*)	(*)	/	/	(*, 注)	※
歯 学 部	歯学科		450		100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
工 学 部	全学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*)	※
農 学 部	全学科, 国際食料資 源学特別コース(農 学系サブコース)		400	(*)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
水 産 学 部	全領域・国際食料資 源学特別コース(水 産学系サブコース)		400	(*)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(*, 注)	※
畜 産 学 部	獣医学科		400	(-)	100	100	100	/	/	200	/	(*)	/	/	(注)	※

- (1) 「総合得点」欄に※を付してある学部・学科等の入学者選抜は、日本留学試験、個別学力検査等を総合的に評価して行います。
- (2) 配点の欄に(*)を付してある日本語記述問題、小論文、面接及びTOEFL又はTOEICは、実施する学部・学科等において3～4段階で評価し、総合判定の資料とします。
なお、(-)を付してある学部・学科の日本語記述問題の得点は、選抜の際の基礎資料とします。
- (3) 配点の欄に(注)を付してある法文学部、教育学部、理学部、医学部、歯学部、農学部、水産学部及び共同獣医学部のTOEFL又はTOEIC並びに医学部保健学科、歯学部、農学部、水産学部及び共同獣医学部の日本留学試験については、「Ⅱ 出願資格」(10～11頁)を参照してください。
- (4) 理科は、3科目のうち2科目選択です。ただし、配点の欄に☆を付してある科目は必須を示しており、理学部物理科学科では、物理を必須とし、化学、生物のうちから1科目選択、生命化学科では、化学と生物を必須とします。

- (5) 教育学部実技系初等中等教育コース音楽・保健体育，初等教育コース，中等教育コース家政，特別支援教育教員養成課程の日本留学試験は，文系又は理系のいずれかを選択できます。（上段は文系，下段は理系の配点を示す。）
- (6) 日本留学試験の成績は，直近の4回又は2回のうちいずれか1回を利用できます。（12～13頁参照）

IV 採点・評価等基準

1 小論文

次の学部・学科で小論文を課し，それぞれ修学上必要な能力をみます。

- (1) 法文学部法経社会学科法学コース
法律学，政策学及び政治学を学ぶ上で必要な基礎的素養の有無を問う。
- (2) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース
日本の経済や社会についての関心を問う小論文により，日本語による表現力をみる。
- (3) 法文学部人文学科多元地域文化コース
人文科学を学習するための基礎的教養・素養を問う。
- (4) 医学部保健学科
専門を学ぶ上で必要な基礎的事項及び人間の生命と社会文化に関する考え方を問う。

2 面接

次の学部・学科・コースで面接を課します。

学部・学科等			面接の形態		面接時間	評価事項
			個人面接	面接員数		
法文学部	法経社会学科	法学コース	○	2～3人	15分	日本語能力，法律に対する一般的関心・素養，志望動機等
		地域社会コース・経済コース	○	2～3	15	志望動機，学習意欲，日本語会話能力等
	人文学科	多元地域文化コース	○	2～3	15	志望動機，学習意欲，日本語会話能力等
		心理学コース	○	2～3	15	志望動機，学習意欲，日本語会話能力等
教育学部			○	2～10	15	志望動機，学習意欲，日本語会話能力等
理学部			○	4	20	基礎知識，志望動機，学習意欲，日本語会話能力等
医学部	医学科	○	3	20	志望動機，日本語会話能力，学習意欲等	
	保健学科	○	3	30	志望動機，日本語会話能力，学習意欲等	
歯学部			○	3～5	25	日本語能力（会話及び作文），志望動機等
工学部			○	3～5	15	基礎知識，日本語能力，志望動機，学習意欲等
農学部			○	3～7	15	日本語能力，志望動機，学習意欲等
水産学部			○	3～6	20	日本語能力，志望動機，学習意欲等
共同獣医学部			○	3～7	15	日本語能力，志望動機，学習意欲等

- (1) 受験者数により「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。
- (2) 医学部医学科では，受験者に「面接用作文」を作成させ（40分），それらに基づき面接を行います。
- (3) 歯学部歯学科では，受験者に「面接用資料」と「作文」を作成させ（50分），それらに基づき面接を行います。
- (4) 共同獣医学部獣医学科では，受験者に「面接用作文」を作成させ（30分），それらに基づき面接を行います。

3 実技

教育学部学校教育教員養成課程実技系初等中等教育コースの音楽、美術及び保健体育の志願者には、次の実技検査を課します。

音 楽	<p>次の①～③をすべて受験すること。</p> <p>①ピアノ：任意の独奏曲1曲を暗譜演奏のこと。</p> <p>②声 楽：次のア, イいずれかの任意の声楽曲1曲を原語で暗譜演奏のこと。(楽譜提出) ア. 歌曲 イ. オペラ又はオラトリオの中のアリア</p> <p>③聴 音：単旋律書き取り</p>
美 術	<p>次の①～③の中から、いずれか1種目を選択し受験すること。</p> <p>①絵 画 ②彫 塑 ③デザイン</p>
保 健 体 育	<p>次の①～⑱の中から、いずれか1種目を選択し受験すること。</p> <p>①器械運動 ②陸上競技－短距離走 ③陸上競技－長距離走 ④陸上競技－跳躍 ⑤陸上競技－投てき ⑥水 泳－クロール ⑦水 泳－平泳ぎ ⑧水 泳－背泳ぎ ⑨水 泳－バタフライ ⑩バスケットボール ⑪ハンドボール ⑫バレーボール ⑬サッカー ⑭ラグビー ⑮テニス (硬式) ⑯柔 道 ⑰剣 道 ⑱ダンス</p> <p>※ ①の器械運動の男子はマット、跳び箱、鉄棒、女子はマット、跳び箱、平均台をそれぞれ受験すること。 ※ ④の陸上競技－跳躍は、走り幅跳び、走り高跳びの中からいずれかを選択し受験すること。 ※ ⑤の陸上競技－投てきは、砲丸投げ、円盤投げ、やり投げの中からいずれかを選択し受験すること。</p> <p>(受験上の注意)</p> <p>(1) 受験者は運動のできる服装をすること。 (2) 実技検査を受ける者は、屋内もしくは屋外用シューズを持参すること。競技用シューズを用いてもよい。 (3) 雨天時においても実技検査は実施するので、着替え・屋内用シューズ等を準備すること。 (4) 水泳の受験者は、「競技用水着」及び「水泳帽」を持参すること。 (5) ラグビーの受験者は、ヘッドキャップを持参すること。 (6) テニスの受験者は、ラケットを持参すること。また、雨天時には屋内で検査を行うので屋内用シューズを持参すること。 (7) 柔道、剣道の受験者は各自、用具(柔道衣、剣道防具)を持参すること。 (8) ダンスの受験者は、自作伴奏用音源(3分前後)をカセットテープ、CD又はMDに録音し、持参すること。</p>

4 合否判定基準

(1) 法文学部

- ① 法経社会学科法学コースにおいては、全科目の総合得点が60% (600点) 以上で、かつ「小論文」、「面接」の各得点が60% (小論文：60点、面接：60点) 以上の者を合格とします。法経社会学科地域社会コース・経済コースにおいては、日本留学試験及び個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い、合否を判定します。人文学科多元地域文化コースにおいては、全科目の総合得点が60% (660点) 以上で、かつ「小論文」、「面接」の各得点が60% (小論文：120点、面接：60点) 以上である者のうちから、総合得点により順位付けを行い、合否を判定します。人文学科心理学コースにおいては、日本留学試験及び個別学力検査等を総合的に評価して合否を判定します。

- ② 総合得点が同点の場合は、同順位とします。

(2) 法文学部以外の学部

日本留学試験及び個別学力検査等を総合的に評価して合否を決定します。

V 出願手続

私費外国人学部留学生入試は、インターネットを利用した出願として対応します。鹿児島大学の入試案内のホームページへアクセス（以下参照）し、私費外国人学部留学生入試の学生募集要項（PDF ファイル）の内容を参照してください。

インターネット出願の運用図



1. 出願期間

2018年1月16日（火）～18日（木）17時必着（12時～13時を除く）

※インターネット出願登録及び入学検定料支払い手続きは1月9日（火）から可能です。

2. 提出方法

入学志願者は、次頁の「4. 出願書類等」を番号順に取り揃え、その左肩を大型クリップで留めて、市販の角形2号封筒（240mm × 332mm）に入れてください。その封筒にインターネット出願登録サイトから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。

持参する場合は、「鹿児島大学学生部入試課」宛に出願書類提出期限1月18日（木）17時までに持参してください。

郵送する場合は、同封筒に切手を貼り出願書類提出期限1月18日（木）17時までに到着するよう郵便事情等を考慮し、早めに郵送してください。

3. インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

(1) インターネットによる出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

(2) 入学検定料17,000円の支払い。（なお、別途、払込手数料640円が必要です。）

(3) 入学検定料の支払い後、インターネット出願サイトにて、出願確認票の印刷、宛名ラベルの印刷をしてください。（印刷前に写真のアップロードを完了する必要があります。）

(4) インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

(ア) 電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

(イ) A4サイズ用の紙が印刷できるプリンタで出願情報の登録内容や受験票を印刷（普通紙）することになります。

(ウ) 提出書類のうち「(2)出願者が準備する必要提出書類」（次頁参照）の内容によっては、準備に時間を要する場合がありますので、事前に確認が必要です。

(5) インターネット出願登録ができる環境がない場合は、早めにご相談ください。

問い合わせ先：鹿児島大学学生部入試課入試実施係 TEL 099-285-7355

インターネット出願登録及び支払い開始日 2018年 1月 9日（火）～

インターネット出願期間 2018年 1月16日（火）～18日（木）

インターネット出願期間締切日時 2018年 1月18日（木）17時必着

注）出願締切時間までに必要書類を提出できるように登録・支払いを済ませてください。

4. 出願書類等

(1) インターネット出願登録サイトからの印刷物 (A4で印刷)

番号	出願書類等	摘 要
1	出願確認票	この出願確認票は大学へ郵送する書類です。 出願内容等に間違いがないか確認して、インターネット出願サイトの登録時に印刷してください。
—	宛名ラベル	宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼り付けてください。 ※封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を準備してください。 ※日本国外から送付する場合は、次頁のE-mailに問い合わせてください。

出願確認票及び宛名ラベルは、(3) 写真のアップロードと(4) 入学検定料の支払いが完了しないと印刷できません。

(2) 出願者が準備する必要提出書類

番号	出願書類等	摘 要
2	卒業(見込)証明書等	日本の高等学校に対応する学校の卒業(見込)証明書又は卒業証書の写し
3	成績証明書	日本の高等学校に対応する学校の成績証明書 なお、卒業(見込)証明書及び成績証明書等が提出できない場合で国際バカロレア資格等を有する者は、同資格証書の写し及び成績証明書を提出すること。
4	日本留学試験成績通知書の写し	志願する学部・学科等が指定する直近4回又は直近2回のうちいずれか1回の日本留学試験成績通知書の写しを提出すること。
5	日本留学試験受験票の写し	志願する学部・学科等が指定する直近4回又は直近2回のうちいずれか1回の日本留学試験受験票の写しを提出すること。
6	英語能力測定の公式認定証の写し	志願学部が指定するTOEFLのスコア又はTOEICの公式認定証の写し。ただし、TOEFLの成績証明書は、Examinee Score Record(写し)又はOfficial Score Reportを提出すること。 Examinee Score Record(写し)又はOfficial Score Reportが本学の出願期間内に届かない場合は、不備書類として返却する。 Official Score Reportを提出する場合は、ETSから鹿児島大学学生部入試課へ直送すること。(鹿児島大学のDIコード:「0479」) ※直送する場合は出願期間内までに提出すること。
7	身分証明書	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。
8	日本語訳の添付	出願書類が日本語以外(英語を除く。)の場合は、日本国在外公館、自国の在日公館又は日本語学校等の学校長の翻訳証明のある日本語訳を添付すること。

(3) インターネット出願登録サイトから受験票印刷のためのアップロード作業が必要なもの(郵送は不要)

出願登録処理	摘 要
カラー写真(白黒不可)	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、登録完了メールに記載されているURLから、インターネット出願登録サイトへ再度ログインし、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (写真はスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影し、上半身脱帽正面向き無背景、出願前6か月以内に撮影した100KB～5MB以下のJPG又はPNGデータであること。)

(4) インターネット出願登録サイトでの入学検定料の支払い方法

出願登録処理	摘 要
入 学 検 定 料	<p>17,000円 (なお, 別途, 払込手数料 640円が必要です。)</p> <p>1. 支払い期間日 2018年1月9日(火)～1月18日(木) 注) 出願締切期限(1月18日(木)17時必着)までに<u>出願書類を提出できるように登録・支払いを済ませてください。</u></p> <p>2. 支払い方法 全国展開しているコンビニエンスストア, 銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンク, クレジットカードのいずれかで入学検定料の支払いが可能。</p> <p>3. 支払いでの留意事項 支払い時に別途必要な手数料は, 入学志願者本人の負担となります。 既納の入学検定料は, 次の場合を除き, いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 入学検定料を払い込んだが, 出願しなかった場合 (返還額 17,000円) (イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 (返還額 17,000円) ※(ア)・(イ)に該当するときは, 「(7) 入学検定料の返還請求の方法」を参照すること。</p>

(5) 受験票の印刷について

2018年1月24日(水)頃, インターネット出願登録サイトから, 「受験票印刷可能通知メール」を志願者が登録した電子メールアドレスへ送信します。

メール受信後, インターネット出願登録サイトから各自受験票を印刷し試験当日に持参してください。
受験票を印刷の際は必ず A4タテサイズでカラー印刷してください。

※「受験票印刷可能通知メール」が1月26日(金)までに届かない場合には, 速やかに下記の【出願書類提出先及び問い合わせ先】に連絡してください。

(6) 留意事項

- (ア) 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので, 十分点検して提出してください。なお, 不備書類は返却します。
- (イ) 受験票は, 受験, 入学手続及び入試情報(個人情報)開示請求の際に必要です。大切に保管してください。
- (ウ) 出願手続その他に不正の事実があった場合は, 入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (エ) 出願書類を日本国外から送付する場合は, 2018年1月4日(木)までに下記の【出願書類提出先及び問い合わせ先】に日本国外から送付する旨を連絡してください。

【出願書類提出先及び問い合わせ先】

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24

鹿児島大学学生部入試課入試実施係 TEL 099-285-7355

E-mail nyushi@kuas.kagoshima-u.ac.jp

(7) 入学検定料の返還請求の方法

次の1～6を明記した「入学検定料返還請求願」(様式任意)を作成し, 封筒の表に「入学検定料返還請求願在中」と朱書し, 次の請求先まで郵送してください。同請求願を受理した後, 財務部経理課収入係から連絡します。

- 1 氏名(フリガナ)・生年月日
- 2 学部・学科等名・入試区分(私費外国人学部留学生入試)
- 3 整理番号及び入金日
- 4 郵便番号及び住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求理由((4)入学検定料3.の(ア)又は(イ)のいずれかを記入)

請求期限: 2018年3月2日(金)必着

請求先及び問い合わせ先: 〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24

鹿児島大学財務部経理課収入係 TEL 099-285-3355

又は 099-285-7116

VI 小論文等の実施日等, 時間割, 受験上の注意

1 小論文, 面接及び実技等の実施日等

実施日 2018年2月3日(土)

場 所 志願学部

検査場所は19頁「(5)受験票の印刷について」の「受験票印刷可能通知メール」で一緒に案内します。

2 小論文等の時間割

学部・学科等		時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
法文学部	法社会学部	法学コース	8:30 集合	小論文9:00~10:30				面接13:00~
	地域社会コース・経済コース	8:30 集合	小論文9:00~10:30				面接13:00~	
	人文学部	多元地域文化コース	8:30 集合	小論文9:00~10:30				面接13:00~
	心理学コース	8:30 集合	面接9:00~					
教育学部	音楽・美術・保健体育	8:30 集合	実技9:00~		面接(実技終了後)			
	音楽・美術・保健体育を除く課程, コース, 教科				10:30 集合	面接11:00~		
理学部		8:40 集合	面接9:00~					
医学部	医学科	8:30 集合	面接用作文(注1) 9:00~9:40	面接10:00~				
	保健学科	8:30 集合	小論文9:00~10:30		面接11:00~			
歯学部		8:30 集合	面接(注2)9:00~					
工学部	環境化学プロセス工学を除く学科	8:40 集合	面接9:00~					
	環境化学プロセス工学科						12:40 集合	面接13:00~
農学部			9:40 集合	面接10:00~				
水産学部		8:30 集合	面接9:00~					
共同獣医学部			9:40 集合	面接(注3)10:00~				

(注1) 医学部医学科では, 受験者に「面接用作文」を作成させ(40分), それらに基づき面接を行います。

(注2) 歯学部歯学科では, 受験者に「面接用資料」と「作文」を作成させ(50分), それらに基づき面接を行います。

(注3) 共同獣医学部獣医学科では, 受験者に「面接用作文」を作成させ(30分), それらに基づき面接を行います。

3 受験上の注意

- 受験者は, 検査員の許可がなければ検査室に入出入りすることができません。
- 受験者は, 「本学の受験票」及び「日本留学試験受験票」を持参し, 検査開始20分前の合図により各自指定の検査室に入り本学の受験票と同番号の席に着き, 「本学の受験票」及び「日本留学試験受験票」を机の上に置いてください。
- 検査開始時刻に遅刻した場合は, 検査開始時刻後30分以内の遅刻に限り, その科目等の受験を認めます。なお, 遅刻の理由が交通機関の遅延・予定外の運休等の場合は, 検査場本部に申し出てください。(検査開始後30分を超えて遅刻したときは, その科目等の受験を認めません。)
- 鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・小型定規(直線定規)・鉛筆削り(電動式を除く。)等は各自用意し, 検査中に他人の物品を借りたり, 共用したり, 検査に必要なない物品を持ち込んだりしてはいけません。
[医学部医学科, 歯学部歯学科及び共同獣医学部獣医学科の面接を受験する者は, 筆記用具を準備してください。]
- 時計を使用する場合は, 計時機能だけのものとします。アラームや時報機能のついた時計は, 検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。
- 携帯電話, スマートフォン, ウェアラブル端末等の電子機器類は, 検査室に入る前に必ずアラーム

の設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に、これらをかばん等に入れず、身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。

なお、検査時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し、検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。

- (7) 検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし、検査中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合、検査時間の延長は認めません。
- (8) 検査に際して不正行為が認められた受験者については、その検査は無効とし、その後の受験を認めません。この場合、すべての成績が無効となり、合否判定の対象者とはなりません。
- (9) 2月2日（金）14時から各学部の検査場で検査室配置図等の掲示を行うので、受験者は、見ておいてください。ただし、検査棟内への立入りはできません。
- (10) 検査当日は、自動車・バイク等による入構を禁止します。
- (11) 本学が課す個別学力検査等（面接用資料作成と作文を含む。）のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象者とはなりません。

検査前日又は検査当日、検査場周辺等で「受験料の徴収」、「合格電話・電報」等の受付をする者がいた場合、これらの行為は本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

Ⅶ 合格者発表

日時：2018年2月7日（水） 10時（予定）

各学部において合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類等を上記日時以降に送付します。

また、鹿児島大学ホームページ (<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。

電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

Ⅷ 入学手続

入学手続は、本学所定の封筒に提出書類を封入し、次により行ってください。

1 入学手続期間

2018年3月14日（水）・3月15日（木）

受付時間：9時～17時（12時～13時を除く。）

（郵送の場合も3月15日（木）17時までに必着のこと。）

- (1) 入学手続を郵送で行う場合、3月15日（木）17時までに到着しないおそれがあるときは、提出書類を上記日時に本学に持参して入学手続を行ってください。
- (2) 3月15日（木）17時までに入学手続を行わなかった場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学手続は認めません。

2 入学手続場所 鹿児島大学共通教育棟3号館（郡元キャンパス）

3 提出書類

- (1) 宣誓書及び在学保証書（別途送付する本学所定の様式）
- (2) 本学の受験票
- (3) 日本留学試験受験票

- (4) 卒業（修了）証明書
 - ※ 出願時に卒業（修了）見込証明書を提出した者のみ
- (5) 身分証明書
 - ※ 出願時に身分証明書としてパスポートの写しを提出した者は、「住民票の写し」を提出すること。（出願時に「住民票の写し」を提出した者は不要）
- (6) 入学料振替払込受付証明書（お客さま用）
- (7) 学生証写真票（写真は縦4 cm×横3 cm）
- (8) その他本学が必要とする書類

4 納付金の納入

(1) 入学料 282,000円

- ① 入学料は、郵便局の受付窓口で払込んでください。ATMでの払込みはできません。その際、払込取扱票等の※欄は、合格者の氏名等を記入してください。
また、「郵便振替払込受付証明書（お客さま用）」は、郵便局の受付窓口で日附印を受けた上で、所定の台紙に貼付し、入学手続き時に提出してください。
なお、既納の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。
 - (ア) 入学料を払込んだが、入学手続きをしなかった場合
 - (イ) 入学料を誤って二重に払込んだ場合
- ② 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、26頁を参照してください。
- ③ 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(2) 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）

- ① 授業料は、免除申請中の者を除き、本人指定の口座から、前期分を5月下旬に、後期分を10月下旬に引き落とします。（2年次以降は、前期分を4月に、後期分を10月に引き落とします。）
 - ② 授業料の免除を希望する者は、26頁を参照してください。
 - ③ 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。
 - ④ 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- ※ 授業料の詳細については、合格通知書とともに送付される入学案内を参照してください。

Ⅷ 個人情報の取扱いについて

- 1 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- 2 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については、本学の入学者選抜・合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し、他の目的には利用しません。

X 障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可 能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用に よっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における 基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的 観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態 が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

1 相談の期間

原則として、2018年1月9日（火）までとします。

※ 相談の内容によっては対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

2 相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で、次の内容を記載した事前相談書（様式任意）等を提出してください。

(1) 事前相談書（次の事項等を記載したもの。）

- ① 志願者の氏名及び生年月日
- ② 志願者の現住所、電話番号及び保護者の連絡先
- ③ 出身学校
- ④ 志願学部・学科・課程等
- ⑤ 障害の種類・程度
- ⑥ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑦ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑧ 出身学校等でとられていた特別な配慮
- ⑨ 日常生活の状況

(2) 医師の診断書

(3) その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

3 問い合わせ先

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24

鹿児島大学学生部入試課入試実施係 TEL 099-285-7355

XI 国際交流会館、学生寮、入学料免除制度、入学料徴収猶予制度、授業料免除制度及び奨学金等

次の項目の詳細については、鹿児島大学学生部国際事業課（TEL 099-285-7325）にお問い合わせください。（土曜日・日曜日・祝日を除く。）

1 国際交流会館

鹿児島大学に入学した留学生には、留学生用宿舎として国際交流会館があります。入居できる者は、新たに鹿児島大学に入学した者で、入居期間は1年です。入居を希望する場合は、所定の期間内に入居申込みを行ってください。

ただし、部屋の数に限られているので、入居できない場合があります。

(1) 国際交流会館の概要

2017年4月現在

会館名	1号館	2号館	3号館
収容定員（单身室）	35人	30人	57人
入居予定人員	若干人	若干人	若干人
寄宿料（月額）	5,900円	4,700円	25,000円
食事	なし（共同台所での自炊可能）		なし（各部屋に簡易キッチンあり）
宿舎構造	鉄筋コンクリート4階建		鉄筋コンクリート5階建
諸経費	光熱水費など 月額 約10,000円程度		
所在地	〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目50-20		

(注) 寄宿料（月額）、諸経費は改定されることがあります。

(2) 国際交流会館への入居手続について

国際交流会館への入居を希望する者は、次の①～⑤をよく読んで入居予約申込書を請求してください。

- ① 請求期限 2018年2月2日（金）必着
- ② 請求先 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部国際事業課 TEL 099-285-7325
- ③ 請求方法 入居希望者は、返信用封筒（長形3号の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記し、82円切手を貼付したもの）を同封の上、請求する封筒の表に「入居予約申込書請求」と朱書し、入学試験関係書類とは別途請求してください。
- ④ 入居申込書提出期間 2018年2月2日（金）～9日（金）までの間に、上記②の請求先に郵送してください。
- ⑤ 入居可否の通知 2月末に学内の選考基準に基づき選考の上、直ちに入居希望者（合格者）に通知します。

2 学生寮

学生寮に入寮を希望する場合は、本人の申請に基づき選考を行い、経済的困窮度の高い者から優先的に入寮が許可されます。

なお、学生寮に入寮できる条件は、原則として、自宅から公共交通機関を利用して通学に90分以上を要する者です。

(1) 概要

2017年4月現在

寄 宿 舎 名	と 唐 湊 寄 宿 舎			さくらがおか 桜ヶ丘寄 宿 舎	
男 女 の 別	男 子 寮			女 子 寮	
建 物 名	A 棟	B 棟	C 棟	唐湊女子寮	桜ヶ丘女子寮
収 容 定 員	76人	92人	64人	81人	99人
寄 宿 料 (月 額)	4,300円	4,300円	700円	4,300円	5,900円
寮 構 造	鉄筋5階建	鉄筋5階建	鉄筋2階建	鉄筋4階建	鉄筋5階建
建 築 年 度	1982年	1983年	1961年 1999年一部改装	1966年 2001年全面改装	1974年 2008年一部改装
居 室 の 形 態	個室	個室	4人部屋	個室	個室
入居対象学部等	全学部 (大学院生を含む。)			医学部・歯学部 を除く全学部(大 学院生を含む。)	医学部・歯学部 のみ(大学院生 を含む。)
寮から各キャン パスへの通学 所 要 時 間	※郡元キャンパスまで、徒歩約15分 ※下荒田キャンパス(水産学部)まで、徒歩約30分 ※桜ヶ丘キャンパス(医学部・歯学部)まで、バス、電車等を利用し約1時間				桜ヶ丘キャン パス内(医学部・ 歯学部)
諸 経 費	光熱水費など 月額 約6,000円～9,000円				
所 在 地	唐湊寄 宿 舎 〒890-0081 鹿児島市唐湊三丁目3-1 桜ヶ丘寄 宿 舎 〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1				
そ の 他 設 備 等 に つ い て	食事なし(自炊可能) キッチン、トイレ、浴室、洗面所は共同 洗濯機、乾燥機を各階に設置				

(注) 学生寮の改修等に伴い、寄宿料(月額)が改定されることがありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 学生寮への入寮手続について

学生寮への入寮を希望する者は、次の内容を確認し、入寮者募集要項及び入寮願書を取得の上、申請してください。

①入寮者募集要項及び入寮願書の公表 2017年12月下旬

②取得方法

●鹿児島大学ホームページからダウンロード(A4用紙に印刷)

(URL) <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/ryou.html>

「鹿児島大学」→「入学希望の皆さま」→「入学時の必要経費、奨学金等」の「学生寮」をクリック

●郵送による請求

次の要領により、次頁⑤の担当部署へ請求してください。

- ・返信用封筒(「角形2号」封筒に140円切手を貼付し、送付先の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの)を同封の上、請求する封筒の表に「学生寮入寮願書請求」と朱書きし、入学試験関係書類とは別に請求してください。
- ・郵送による請求は、2018年1月31日(水)まで受け付けます。

③申請受付期間

2018年2月1日（木）から2018年2月16日（金）午後5時まで

④入寮選考結果の通知

対 象	発 送 日
一般入試（前期日程）、AO入試、推薦入試、私費外国人学部留学生入試、国際バカロレア入試、学部編入学及び大学院入学予定者	2018年3月8日（木）
一般入試（後期日程）	2018年3月21日（水）

⑤担当部署

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課学生企画係（共通教育棟1号館1階）
電話 099-285-7340

3 アパート・マンション・食事付下宿について

学生用のアパート・マンション・食事付下宿については、鹿児島大学生生活協同組合で紹介しています。

(1) 紹介時期 通年

(2) 場 所 鹿児島大学生協すまいの窓口（中央食堂裏）

2月中旬～3月末は中央食堂内特設会場（郡元キャンパス）

(3) 家賃などの目安

アパート木造（4.5～6畳） 15,000円～30,000円（キッチン、バス、トイレは専用）

1K及びワンルームマンション（6～8畳） 30,000円～45,000円（キッチン、バス、トイレ付）

1K及びワンルームマンション（8～10畳） 42,000円～55,000円（キッチン、バス、トイレ付）

食事付下宿（4.5～6畳） 41,000円～60,000円

(4) 問い合わせ先

鹿児島大学生生活協同組合すまいの窓口 TEL 099-255-3427

インターネットでのお部屋さがしは

「お部屋さがし」のボタンを押してください。

「合格前の仮予約」については、鹿児島大学生協にお問い合わせください。

4 入学料免除制度

入学前1年以内に、本人の学資を主として負担する方（以下「学資負担者」という。）が死亡した者、本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

ただし、入学料を納付した場合、申請は無効になります。

5 入学料徴収猶予制度

経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内に学資負担者が死亡した者、本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、入学料の徴収が一定期間猶予される制度があります。

6 授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内に学資負担者が死亡した者、本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、その期の授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

7 奨学金

奨学金は、日本学生支援機構をはじめとする公的機関や民間団体・企業等及び鹿児島大学が行っているものがあります。奨学金の申込みには、入学後に学部で奨学金受給希望の登録が必要となります。

ただし、奨学金申請資格として「留学」の在留資格のある人と定められているものがありますので、「留学」以外の在留資格を持つ人は申込みできない奨学金もあります。

8 保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険

体育実技や実験実習・課外活動中には、万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。

このような正課中、学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害（体育実技・課外活動中のケガ、実験中の火傷等）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中等担保持約付きとなっていて、通学中の事故についても補償されます。

その他、日本国内外において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償する制度として「学研災付帯賠償責任保険」があり、Aコース（正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復（Bコースの補償範囲を含む））及びBコース（インターンシップ、教職資格活動等、ボランティア活動及びその往復）があります。

この保険は「学生教育研究災害傷害保険」に加入した者のみ加入でき、入学後、必要に応じて加入することになります。

学 部	保険料（掛金）	学 部	保険料（掛金）
法 文 学 部 教 育 学 部 理 学 部 医学部(保健学科)	「学生教育研究災害傷害保険」 3,300円（4年間分）	医学部(医学科) 歯 学 部 共 同 獣 医 学 部	「学生教育研究災害傷害保険」 4,800円（6年間分）
工 学 部 農 学 部 水 産 学 部	「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340円（1年間分） Bコース 210円（1年間分）		「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340円（1年間分） Bコース 210円（1年間分）

(注) 保険料は、改定されることがあります。

(注) 医学部及び歯学部は「学生教育研究災害傷害保険」の「接触感染予防保険金支払特約」（70円・4年間分、100円・6年間分）及び「学研災付帯賠償責任保険」のCコース（医療関連実習及びその往復：2,000円・4年間分、3,000円・6年間分）が必要となります。

(2) 学生総合共済・学生賠償責任保険

鹿児島大学生生活協同組合が扱っている24時間保障の「学生総合共済・学生賠償責任保険」は、学内外の日常生活で生じるスポーツ事故、交通事故、一時的な病気、その他について必要な補償が受けられる制度です。

詳しくは、鹿児島大学生生活協同組合（099-255-0131）にお問い合わせください。

9 入学時の必要経費

入学料282,000円、授業料（前期分）267,900円のほかに学友会費（4年間分）20,000円〔医学部（医学科）、歯学部、共同獣医学部は（6年間分）29,200円〕、教科書代等15,000円～30,000円程度の所要経費が見込まれます。

その他、学部によっては、後援会費等の諸経費が別途必要な場合があります。詳しくは、各学部の担当係（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※共同獣医学部では、講義、演習及び実験・実習に伴う必要な交通費・宿泊費などの経費について、学生負担をお願いする場合があります。

XII 入試情報開示

小論文の正解・解答例の開示

合格者発表後、「出題意図」を鹿児島大学学生部入試課で開示します。

入学者選抜試験個人成績の開示

2018年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

1 開示内容

試験成績

【得点】総合的に評価している学部・学科等を除き、個別学力検査等の個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

【順位】総合的に評価している学部・学科等を除き、総合得点による順位を開示します。

2 開示期間

(1) 郵送での開示期間（開示請求受付期間）

2018年5月1日（火）～5月31日（木）（消印有効）

(2) 窓口での開示期間

2018年5月1日（火）～5月31日（木） 9時～17時まで（土曜日・日曜日・祝日を除く。）

3 請求者 受験者本人に限ります。（代理人の請求は認めない。）

4 開示方法

(1) 鹿児島大学学生部入試課で開示します。

原則として、「2018年度鹿児島大学入学試験受験票（開示請求する選抜区分のもの）」が必要となります。

(2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書き、書留郵便で請求してください。ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。

なお、本人確認のため、問い合わせをする場合があります。

① 入試情報開示請求書（様式は右記のとおり）

② 2018年度鹿児島大学入学試験受験票（開示請求する選抜区分のもの）

③ 返信用封筒（長形3号封筒に392円分の切手を貼付し、自分の宛先を明記したもの）

(3) 請求先

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24
鹿児島大学学生部入試課入試実施係

5 その他

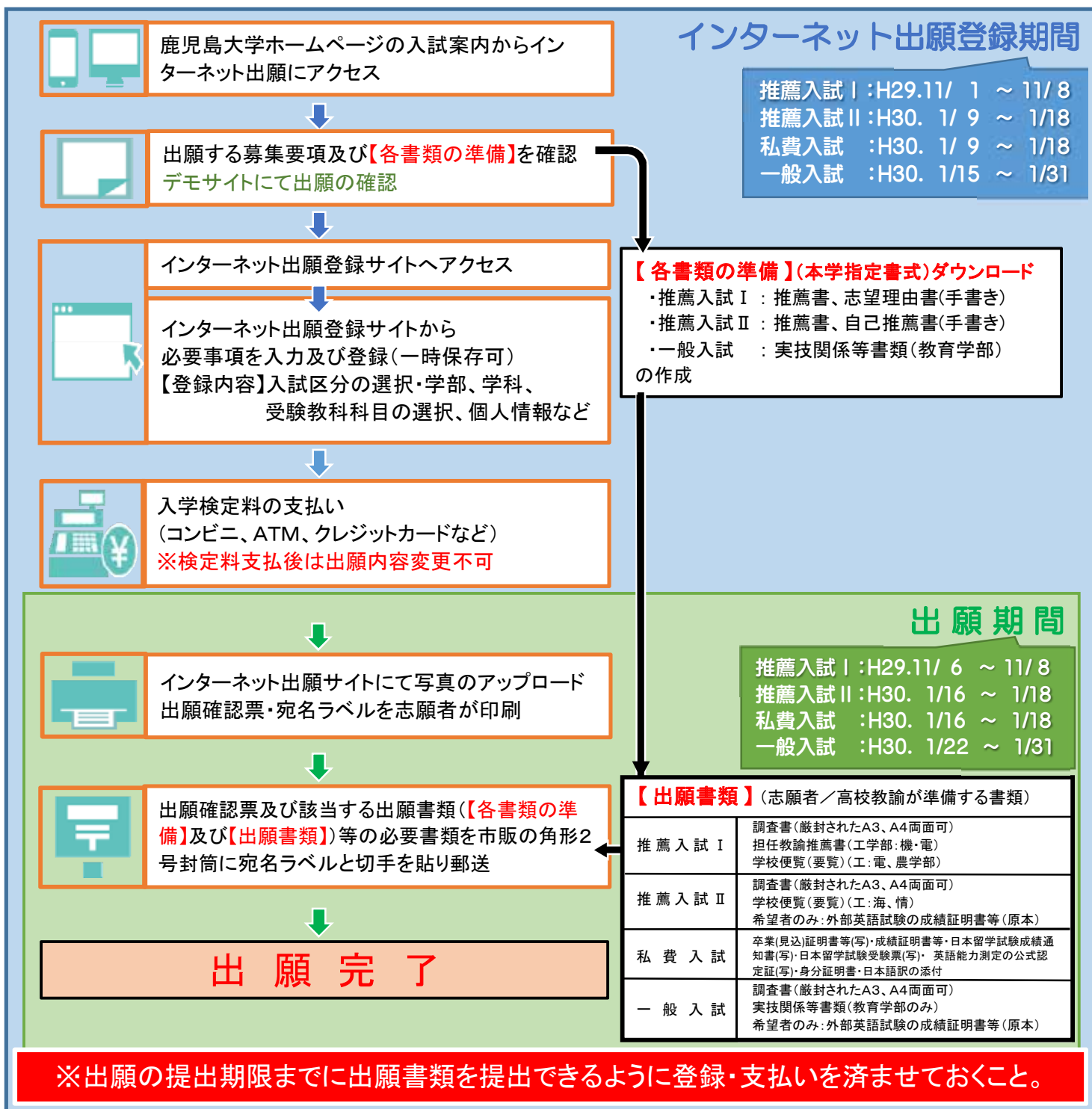
2017年度以前の個人成績は開示しません。

【郵送による場合の様式】

A4用紙

入試情報開示請求書	
2018年 月 日	
鹿児島大学長 殿	
請求者	〒 -)
現住所	_____
氏名	_____
電話番号	_____
生年月日	_____年 月 日
選抜方法	(該当事項に○を付し、所要事項を記載してください。)
	1. 一般入試（前期日程）
	2. 一般入試（後期日程）
	3. アドミッション・オフィス入試（AO入試）
	4. 推薦入試Ⅰ
	5. 推薦入試Ⅱ
	6. 私費外国人学部留学生入試
	7. 国際バカロレア入試
受験学部等	_____
	_____学部_____学科・課程
	_____コース
	_____教科・専攻領域・サブコース
受験番号	_____
私の入試情報について、下記のとおり開示を請求します。	
記	
試験成績	

鹿児島大学 平成30年度入試インターネット出願の流れ(全体イメージ)



出願期間終了の約一週間後、大学から送信されてくる「受験票印刷可能通知メール」を確認
※メール本文に案内しているURL(本学HP)から各試験場の「受験案内」をダウンロードして確認

【志願者印刷】

- ・受験票(A4タテ・カラー)
- ・受験案内(本学HPからダウンロード)に記載している各学部毎の検査場の場所、集合時間等を事前に確認

各自受験票を印刷

各自受験票を持参し各検査場※で受験

※各入試の前日14時から各学部検査場で検査室配置図等の掲示を行います。
ただし、検査棟内への立入はできません。

鹿児島大学位置図



鹿児島大学各学部等の連絡先一覧

学部地区	学部等	担当係名	所在地	電話番号
A 郡元キャンパス	学生部入試課	入試実施係	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24	099-285-7355
	法文学部	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-30	099-285-7525
	教育学部	教務係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20-6	099-285-7713
	理学部	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-35	099-285-8025
	工学部	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-40	099-285-3066
	農学部 共同獣医学部	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24	099-285-3553
B 桜ヶ丘キャンパス	医学部	医学教務係	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1	099-275-6721
	歯学部	保健学教務係		099-275-6724
		歯学教務係		099-275-6040
C 下荒田キャンパス	水産学部	学生係	〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目50-20	099-286-4040

※学生部入試課へのアクセス

JR鹿児島中央駅東口バスのりば「東14」から市営バス「⑩ 大学病院」、又は「東15」から市営バス「⑨ 武岡・鴨池港」, 「⑪ 鴨池・冷水」, 「⑫ 緑ヶ丘・鴨池港」, 「東22」から鹿児島交通バス「④ 紫原・桜ヶ丘」を利用し, 「鹿大正門前」下車, 徒歩約2分

鹿児島大学ホームページアドレス

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>